

令和2年度

第1回 水戸市妻里市民センター運営審議会

日 時 令和 2年 7月 10日 (金)

午後 1時 30分から

場 所 水戸市妻里市民センター会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議題

- (1) 令和2年度運営方針及び重点目標について
- (2) 令和2年度事業計画について
- (3) 平成31年4月から令和2年3月までの使用状況について
- (4) その他

4 閉 会

水戸市妻里市民センター

(1) 令和2年度水戸市妻里市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

また、平成31年3月1日、妻里地区において、新たに妻里市民センターが開所となった。市民センターの開所とともに、新たに地区会が発足することとなり、「住みよい妻里をつくる会」が設立された。

妻里市民センターが、住みよい妻里をつくる会をはじめとする地域コミュニティ活動の拠点として、併せて生涯学習活動の拠点としての中心的な役割を果たすとともに、東日本大震災から約9年が経過し、次なる災害に備え、子どもから高齢者までの誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくりを目指すため、震災から得た教訓を活かし、太陽光発電設備や受水槽、防災倉庫等、災害に強い設備を備え、防災対策の拠点として地域社会の発展に寄与すること、また皆様が笑顔で安心して快適に暮らすことができる、未来に躍動する妻のまちづくりに大きく寄与できるよう機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、妻里地区において地域コミュニティプランを完成させるとともに、その実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした

自主的な活動を推進する。

- イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、妻里地区のよりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携を強化するとともに、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信し、住みよい妻里をつくる会への理解・協力を深めてもらうよう働きかけ、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。
- エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ、適切な施設の運用に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、妻里地区防災対策委員会や関係団体と協力し、研修・訓練を実施するとともに、平常時より、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、連携強化に努める。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができる学習機会の充実に努

める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、それぞれの世代や目的に合った定期講座や教室などのプログラムを充実させ、学習機会の提供に努めるとともに、生涯学習のきっかけづくりを図っていく。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人家級、高齢者学級等の講座を実施する際には、時事的なものや現代的課題を取り扱ったテーマをプログラムに組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集や地域の人材を活用するなど、地域と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育学級等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があるので、家庭教育について考える機会を提供するため、家庭教育学級を開催する。

さらに、これまでの小学校・幼稚園と協力して行ってきたふれあい学級をより充実させるとともに、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自立的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

妻里地区には、歴史的な資産や史跡をはじめ、学校などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員や知識・経験の豊富な年配者などの人的資源があるだけでなく、豊かな自然に囲まれており、地域資源にも恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表す

る場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

また、より多くの人に触れてもらえるよう、内原地区内の連携協力を図る。

ウ 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、生涯学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

市民センターにおいては、それをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分發揮する。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形での多世代間交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、地域社会が一体となって次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動を推進する。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要があることから、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(2) 令和2年度事業計画について

教養講座等の事業計画（☆印は地区内各種団体等と共済事業）

事 業	開 催 日
定期講座、教室、クラブ募集	4月6日～4月17日（随時募集）
定期講座、教室、クラブ開講（6講座）	5月1日→7月1日に変更
☆妻里寿大学の開催	未定
夏休みキッズスクールの開催	8月17日、8月20日
夏休み親子野外研修	中止
☆女性セミナー	未定
☆市民運動会	5月23日→11月21日に変更
☆家庭教育学級（妻里幼稚園・妻里小学校）	未定
☆環境研修会	未定
☆妻里地区歩く会	未定
☆防災訓練	未定
☆郷土かるた大会	1月中旬
市民センター講座展示発表会	2月27日

※他、短期教養講座を予定

(3) 平成31年4月から令和2年3月までの妻里市民センター利用状況報告書

利用団体・時間帯・曜日・室別

夏休みキッズスクール

この夏、おもしろ理科先生と
理科工作を体験しませんか？



① ブーメラン・浮沈子

投げると戻る？浮いたり沈んだり？不思議なオモチャを作ろう！

8月17日(月) 10:00~12:00

講 師：おもしろ理科先生 稲野辺 滋 先生

材 料 費：300円

つくる

② 空気砲

あそぶ

段ボール箱で、空気砲をつくり、的当てゲームをしよう！

8月20日(木) 10:00~12:00

講 師：おもしろ理科先生 山本 真実 先生

材 料 費：150円

《場 所》

妻里市民センター(ホール)

《募 集》

各講座 小学生 15人 (定員になり次第〆切となります)

《持ち物》

ハンカチ・水筒・作業のできる服装

《申込み》

8月3日(月)から8月7日(金)まで

妻里市民センター窓口で 材料費を添えてお申し込みください。

(電話での申込みはご遠慮ください)

主催：妻里市民センター 259-6665

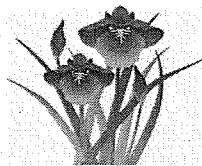
*申込者が少ない時、中止となる場合があります。また、感染症拡大の状況により、中止となる場合があります。ご了承ください。

夏休みキッズスクール 申込書

フリガナ		学 年	小学校 年
氏 名		住 所	
保護者名		日中連絡の取れる 連絡先	
希望の講座 に○をつけて ください。	① ブーメラン・浮沈子 300円		
	② 空 気 砲 150円		



令和2年度 妻里市民センター 定期講座開始のご案内



妻里市民センターでは、新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、市民センターを活動場所とする生涯学習事業を中止していましたが、感染症予防策を講じたうえで7月1日から定期講座を行います。今後は引き続き三密を避けるなど、集団感染防止に配慮しつつ事業を実施してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

《 教室 》

講座名	曜 日	時 間	会 費(円)	第1回開催日	初日に持参する物
リズム体操	第4 (木)	13:30 ～ 15:30	【年額】4,000 (教材費別途)	7月16日 第4が祝日のため第3(木)	動きやすい服装・敷物(マット、バスタオル等)・飲み物
童謡をうたおう	第1・第3 (月)	10:00 ～ 12:00	【年額】4,000 (教材費別途)	7月6日 (月)	飲み物
フラワー デザイン	第4 (水)	10:00 ～ 11:30	【年額】8,000 (材料費別途)	7月22日 (水)	花ばさみ・持ち帰り用袋

《 クラブ 》

講座名	曜 日	時 間	会 費(円)	第1回開催日	初日に持参する物
フォークダンス	第1・第2・第3 (水)	9:30 ～ 12:00	【年額】 10,000	7月1日 (水)	運動靴・飲み物
ダンス A (サクラ)	第1・第2・第3 (水)	19:00 ～ 21:00	【月額】 2,000	7月1日 (水)	動きやすい服装・飲み物
ダンス B (DSC)	第1・第2・第3 (月)	13:00 ～ 17:00	【年額】 4,000	7月6日 (月)	ダンスシューズ(運動靴)・ 飲み物

注意事項

- ・第1回開催日には、開講式を行いますので必ずご出席ください。
- ・会費は、開講後にそれぞれの講座の会計の方へ納入してください。
(途中で脱会やご自身の都合でお休みされた場合、原則として会費の払い戻しは致しませんのでご了承ください。)



【問い合わせ先】

妻里市民センター

有賀町2242

電話 259-6665

市民センター利用時におけるお願ひ

新型コロナウイルス感染症対策のため、部屋の利用にあたりましては、下記の留意点にご配慮いただきますようお願いいたします。

留意点

- ・体調不良（発熱や咳など）の方は、利用を控えてください
- ・飛沫感染を防ぐため、利用人数を収容人数の1／2程度に制限し、席の間隔を2m（最低でも1m）程度設ける
- ・時間の長短に関わらず、こまめに換気を行う
- ・感染が発症した場合に備え、参加者名簿を作成する
- ・手洗い、手指消毒、咳エチケット等感染予防の注意喚起を実施する
- ・大声を出すなど、飛沫を飛散させる行為を行わない
- ・可能な範囲で、規模・時間の縮減を検討する